学校番号	１０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに触れていない画材・技法を扱い、独自の表現を深めていくことをめざします。
作品・授業態度・振り返りレポート等で総合的に評価します。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術についての理解を深め、美術文化と深く関わることのできる資質や能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的な美術表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	切り絵	モダンテクニックを施した紙の上に切り絵を合わせ、作品を制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデアスケッチ	レポート
2	フェイクフード	石粉粘土を使用し、本物そっくりの作品を制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデアスケッチ	レポート
	マイキャンバス	ミニキャンバスにオリジナルの下絵をもとに絵画を制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデアスケッチ	レポート
3	陶芸制作	陶芸の技法を理解し、一輪挿しを制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデアスケッチ	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度